

1. 科目名 (単位数)	日本語学演習Ⅲ (談話) (2 単位)	3. 科目番号	EJJP3326
2. 授業担当教員	村松 喜久子		
4. 授業形態	講義、演習、グループ討議等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	日本語学Ⅴ (談話)		
7. 講義概要	日本語学Ⅴで学んだことを踏まえ、日本語教育で文章・談話がどのように用いられているか考える。文章や談話の構造について接続表現、指示表現、比喩表現などについて学びながら、それらが日本語教育でどのように扱われているか調べていく。また、会話において接続表現や指示表現、提題表現などがどのように扱われているか理解する。		
8. 学習目標	1. 日本語の構造の中で、接続表現、指示表現、提題表現等がどのように扱われているか分析できる。 2. 会話において接続表現や指示表現、提題表現などがどのように扱われ、談話として取り入れられているか理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	ワークシートや課題は期限内に提出すること。 課題 会話を考えるプリントを予習として提出し、それぞれのテーマにおける日本語会話の特徴を考える。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】中西久美子他著『使える日本語文法ガイドブック やさしい日本語で教室と文法をつなぐ』ひつじ書房、2020。 【参考書】根本総子・宮谷敦美『聞いて覚える話し方日本語生中継』くろしお出版、2011。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 日本語の構造の中で、接続表現、指示表現、提題表現等がどのように扱われているか分析できたか。 2. 会話において接続表現や指示表現、提題表現などがどのように扱われ、談話として取り入れられているか理解できたか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する。 1 授業への参加態度・総合点の30% 2 試験 (小テスト、期末テスト等) 総合点の30% 3 提出課題 (レポート等) 上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の修得の条件である。		
12. 受講生へのメッセージ	日本語の会話の特徴を知り、「会話指導」に役立てられるようにするために、自分自身の会話について再考していこう。		
13. オフィスアワー	初回授業時に知らせる。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業概要、指示表現についての概要説明	事前学習	指示について調べる。
		事後学習	ワークシートをまとめる。
第2回	現場指示についてのグループワーク	事前学習	現場指示について調べる。
		事後学習	ワークシートをまとめる。
第3回	現場指示についての発表	事前学習	現場指示会話の発表準備をする。
		事後学習	ワークシートをまとめる。
第4回	文脈指示についてのグループワーク	事前学習	文脈指示について発表原稿を用意する。
		事後学習	文脈指示会話の発表準備をする。
第5回	文脈指示についての発表	事前学習	文脈指示について会話の発表準備をする。
		事後学習	文脈指示についてまとめ提出する。
第6回	接続表現1についてのグループワーク	事前学習	接続表現1について発表原稿を用意する。
		事後学習	接続表現1の会話を作成する。
第7回	接続表現1についての発表	事前学習	接続表現1について会話の発表準備をする。
		事後学習	接続表現1についてまとめ提出する。
第8回	接続表現2についてのグループワーク	事前学習	接続表現2の会話を考え提出する。
		事後学習	接続表現2について発表原稿を用意する。
第9回	接続表現2についての発表	事前学習	接続表現2の会話を作成する。
		事後学習	接続表現2についてまとめ提出する。
第10回	接続表現3についてのグループワーク	事前学習	接続表現3の会話を考え提出する。
		事後学習	接続表現3について発表原稿を用意する。
第11回	接続表現3についての発表	事前学習	接続表現3の会話を作成をする。
		事後学習	接続表現3についてまとめ提出する。
第12回	接続表現4についてのグループワーク	事前学習	接続表現4の会話を考え提出する。
		事後学習	接続表現4について発表原稿を用意する。
第13回	接続表現4についての発表	事前学習	接続表現4の会話の発表準備をする。
		事後学習	接続表現4についてまとめ提出する。
第14回	接続表現5についてのグループワーク	事前学習	接続表現5の会話を作成する。
		事後学習	接続表現5について発表原稿を用意する。

第15回	接続表現5についての発表	事前学習	発表やディスカッションを振り返る。
		事後学習	発表の評価を行う。